

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公表番号】特表2006-525077(P2006-525077A)

【公表日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2006-510092(P2006-510092)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/20 (2006.01)

A 6 1 C 7/14 (2006.01)

A 6 1 C 7/28 (2006.01)

A 6 1 C 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/00 A

A 6 1 C 7/00 B

A 6 1 C 7/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つ以上の歯科矯正器具をインダイレクトボンディングするための歯科矯正用形状転移装置を作製する方法であって、

患者の歯構造の複製を作製する工程と、

前記複製の少なくとも一部を覆うようにスペーサー材料を配置する工程と、

前記スペーサー材料の少なくとも一部を含む前記複製の少なくとも一部を覆うようにトレイを形成する工程と、

前記複製および前記スペーサー材料から前記トレイを除去する工程と、

前記複製から前記スペーサー材料を取り外す工程と、

1つ以上の歯科矯正器具を前記複製上に配置し、歯科矯正治療模型を作製する工程と、一定量のマトリックス材料を前記トレイまたは前記模型のどちらかに塗布する工程と、

前記マトリックス材料が前記トレイと前記模型との間に収容されるように、前記模型を覆うように前記トレイを位置決めする工程と、

前記マトリックス材料を硬化させる工程と、

を含む方法。

【請求項2】

歯科矯正器具のインダイレクトボンディングに使用する形状転移装置であって、

チャネルを有するトレイと、

前記チャネル内に収容され、歯科患者の歯構造の少なくとも一部に一致する形態を有する空洞を備えたマトリックス材料と、

前記空洞に隣接する位置で前記マトリックス材料内に収容される少なくとも1つの歯科矯正器具とを有し、

前記マトリックス材料が約10～約80の範囲のショアA硬度を有する、形状転移装置

。

【請求項 3】

前記マトリックス材料内に少なくとも部分的に埋設され、概ね前記空洞の縦軸に沿った方向に延在する細長い可撓性コードを備える、請求項 2 に記載の形状転移装置。